

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆日本人の人口1億2000万人割れ、1984年以来42年ぶり 人口動態調査

・総務省は住民基本台帳に基づく1月1日時点の人口動態調査を発表。国内の日本人人口は1億1973万6483人で、1984年以来42年ぶりに1億2千万人を下回った。外国人は全都道府県で増え、400万人を超えた。日本人の人口は2025年から91万6744人減った。17年連続の減少で、減った人数と割合のいずれも1968年の調査開始以降で最大だった。

◆高市首相、概算要求基準「危機管理・成長投資に重点」 27年度予算

・高市首相は首相官邸で開いた政府与党政策懇談会で2027年度予算の概算要求基準案を説明。「危機管理投資や成長投資をはじめ、真に効果的な施策を重点的に措置する」と語った。歳出全般で施策の優先順位を洗い直すと強調。概算要求基準は各省庁が翌年度の予算を要求する際の方針。27年度予算は高市内閣の下で初めて一から編成。

◆最低賃金の全国平均1176円に 26年度目安、55円引き上げ

・厚生労働省の中央最低賃金審議会は2026年度の最低賃金(時給)の目安を全国加重平均で1176円にすることで決着。いまの全国平均である1121円から55円の引き上げで、伸び率は4.9%。審議会の会長代理を務める立正大学の戎野淑子教授が厚労省の岸本武史労働基準局長に答申を提出した。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆6月の国内建設受注額5%増 4カ月ぶりプラス、官公庁が押し上げ

・日本建設業連合会が発表した6月の国内建設受注額は、前年同月比5%増の1兆7048億円。単月でのプラスは4カ月ぶり。官公庁からの受注額の伸びがけん引。国内建設受注額は加盟92社のデータを足し合わせて算出。民間からの受注額は20%減の1兆282億円。そのうち製造業は21%減の2184億円、非製造業は19%減の8098億円。

◆6月の工作機械受注53%増で過去最高 データセンター・半導体が寄与

・日本工作機械工業会が発表した6月の工作機械受注額(確報値)は、前年同月比53%増の2033億円。12カ月連続でプラス。単月の受注額では3月(1934億円)を上回り過去最高を更新。坂元会長(芝浦機械社長)は「工作機械受注は全体として緩やかな回復局面から拡大局面に入ったとみている」と説明。

◆熊本地震で供給網に打撃 港湾に被害、半導体やトヨタの生産停止続く

・熊本県で最大震度7の揺れを観測した地震で企業の工場停止が続いている。ソニーグループなどが半導体生産を停止。トヨタ自動車とホンダも月内の生産を止める。サプライチェーン(供給網)への影響が長引く可能性もある。ソニーG傘下のソニーセミコンダクタソリューションズは地震発生直後に熊本県菊陽町にある画像センサー工場の稼働を停止。

《 注目商品 》

■ウッドワン「無垢の木の洗面台」、2人同時に立てるサイズ

・手洗い習慣や室内干しスペース、LDKやホールと馴染むデザイン性など、洗面室に求められる役割が変化していることを受けて、無垢の木の洗面台の体系を整理・再構築。自分好みのアイテムを組み合わせる「FIXタイプ」と自由にカスタマイズする「FLEXタイプ」の2タイプ。



■LIXIL、アートで暮らしを彩る新プロジェクト

・ヘラルボニーが主催する国際アート・アワード「HERALBONY Art Prize 2026」のシルバークーパーナーとなったのをきっかけに、アートの力を暮らしの豊かさに結び付ける新プロジェクト「暮らしに、彩(いろどり)を。」を始動。「エコカラット セルフ」にアート作品を表現し発売。



■城東テクノ、簡単施工の出窓用リフォーム製品

・PaRenoシリーズに既存の出窓カウンターにかぶせるだけのリフォーム用出窓カバーをラインナップ。奥行450mmまでの出窓に対応。展開形状のためカットが平面上でおこなえるうえ、柔らかい樹脂製なのでカッターで簡単に加工できる。材質はオール樹脂製で高い耐水性能を備える。

